

戦争	日清戦争 1894年
戦争前の外交	日英通商航海条約
きっかけ	甲午農民戦争(朝鮮)
結果	<ul style="list-style-type: none"> ●下関条約(山口県) ①台湾・遼東半島を譲り受ける ②賠償金2億両を手に入れる
その後	<ul style="list-style-type: none"> ①三国干渉 ※ロシア・フランス・ドイツの干渉により遼東半島を返還 ②八幡製鉄所を建設 ※軽工業から重工業へ

戦争前の外交に関しては、日英通商航海条約によって、不平等条約の改正のうち「領事裁判権」の撤廃が成し遂げられたことが重要です。この条約を成立させた当時の外務大臣は「陸奥宗光」でした。

甲午農民戦争（東学党の乱）の鎮圧のため、清に応援を頼んだことで、日本も駐留日本人の保護を名目にして出兵したことが、日清戦争のきっかけとなりました。

日清戦争は終始日本軍の優位で進み、講和条約が日本の下関で行われたこともそれを表しています。

三国干渉で返還した遼東半島は、その後ロシアが租借し、半島先端部の旅順の要塞化を行い、シベリア鉄道との連結を目指した鉄道建設も始まりました。外交圧力だけで遼東半島の権益を奪ったロシアに対して日本では反発の機運が高まり、それが日露戦争につながっていきます。

多額の賠償金をもとにした八幡製鉄所が「日露戦争の開戦前」に操業を開始したことを覚えておきましょう。この八幡製鉄所を中心として形成されたのが日本初の工業地帯である「北九州工業地域(地帯)」となります。

戦争	日露戦争 1904年
戦争前の外交	日英同盟
きっかけ	義和団事件(清)
結果	<ul style="list-style-type: none"> ●ポーツマス条約(アメリカ) ①韓国での日本の優越権を認める ②旅順・大連の租借権を得る ③賠償金を得られず ④南樺太を得る
その後	<ul style="list-style-type: none"> ①韓国併合 ②日比谷焼打ち事件

東アジアでのロシアの「南下政策」を警戒していたイギリスは、新興国の日本と同盟を結びロシアの中国・朝鮮半島への侵攻に備えました。当時の国際関係をあらわした風刺漫画を使った記述問題が多いので、説明できるようにしておきましょう。また、日英同盟は「ワシントン会議」で解消されます。

義和団事件は「扶清滅洋」（清を助けて列強を排除する）というスローガンをかかげた民衆が首都の北京に押し寄せた事件です。立てこもった西欧列強の居留民の救出のため、各国が軍隊を派遣しました。民衆鎮圧後もロシア軍が満州地方から撤退しなかったことが日露戦争の原因となりました。

戦争は日本軍が陸海とも優位に進めました（日本海海戦・奉天会戦など）が、莫大な戦費や戦死傷者の増大などで限界が近づいてきました。ロシアも国内で専制政治に対する革命運動も勃発しており、戦争継続が難しくなりました。結果としてアメリカ大統領のセオドア・ルーズベルトの仲介で、「アメリカ」で講和会議が開かれました。

ポーツマス条約では、賠償金が得られなかったため、日本国内では日比谷焼打ち事件と呼ばれる民衆の暴動が発生しました。韓国での優越権を獲得した日本は1910年に韓国併合を行い、完全な植民地としました（～1945年）。

なお韓国併合までの保護国時代の日本の統治機関を「韓国統監府」、韓国併合後の統治機関を「朝鮮総督府」と呼びます。

戦争	第一次世界大戦 1914年	
戦争前の外交	三国協商(ロシア・フランス・イギリス) 三国同盟(ドイツ・イタリア・オーストリア)	
きっかけ	サラエボ事件(バルカン半島)	
結果	●ベルサイユ条約 (フランス)	※日本が参戦 ①日本が中国の山東半島を攻撃 →山東省がドイツ領だったため
その後	①世界平和に向け、 国際連盟を発足 ②ワシントン会議で 軍縮をしていく	③日本が中国に 二十一か条の要求をする ④中国で五・四運動、 朝鮮で三・一独立運動

第一次世界大戦は三国協商を中心とした陣営（連合軍）と三国同盟を中心とした陣営（同盟国）の争いとなります。バルカン半島を南下したいロシアの支援を得るセルビア王国と、バルカン半島を横断し、トルコから中東に拡大を図るオーストリア・ドイツの対立が、オーストリア皇太子夫妻の暗殺で爆発したのがサラエボ事件となります。それぞれの陣営が次々に参戦した結果、世界初の世界大戦となりました。

大戦はヨーロッパを中心に大量の死傷者を出しました。毒ガス・戦車・飛行機という新兵器の使用もその要因とされます。

日本が第一次世界大戦に参戦した理由は「日英同盟」です。日本軍は中国や太平洋上のドイツ領を占領しました。また、大戦景気により国内の重化学工業も発展しました。

その後、アメリカの連合軍側での参戦などもあり、連合軍側の勝利に終わりました。パリ講和会議で締結されたベルサイユ条約では、日本は山東半島のドイツ権益を引き継ぎます。

ヨーロッパ経済の衰退で世界一の経済大国となったアメリカは、国際政治でも中心となり、ウィルソン大統領は国際連盟の結成を提案しました（ただしアメリカの加盟は遅れました）。ウィルソンの「民族自決」の主張に力を得て、インドでの独立運動や、日本の支配下での三・一独立運動、五・四運動なども発生しました。

ワシントン会議はアメリカの主導での軍縮会議で、中国の領土保全と海軍の軍縮が提唱されました。日本は中国での権益が削減され、日英同盟も解消されました。世界恐慌後の1930年にもロンドン海軍軍縮会議が開かれます。

昭和の初めまでを含めた、並べかえの類題もありますので、参照してください。

戦争	日中戦争 1937年	第二次世界大戦 1939年
戦争前の外交	日本が満州事変を起こす 1931年 日本は国際連盟を脱退 1933年	独ソ不可侵条約 1939年 日独伊三国同盟 1940年
きっかけ	盧溝橋事件(中国)	ドイツによるポーランド侵攻
結果	ドイツ、日本の敗戦 日本はポツダム宣言を受諾し、 全面降伏する。	
その後	GHQの戦後改革	

日本は1937年の日中戦争開戦から、1945年のポツダム宣言受諾まで、戦争が継続します。ドイツ・イタリアと同盟を結んだことで「枢軸国」と呼ばれました。1941年にはアメリカとも太平洋戦争を開始しました。

日中戦争のきっかけとなった盧溝橋事件は「北京郊外」での日本軍、中華民国軍の武力衝突です。満州事変の起こった「柳条湖」との位置関係を確認しておきましょう。

事項	内容	結果
● 予算の先議	予算は衆議院が先に審議する	
● 予算の議決 ● 条約の承認 ● 内閣総理大臣の指名	参議院が衆議院と異なった議決をした場合 ⇒ 両院協議会でも意見が一致しないとき	衆議院の議決が国会の議決となる
	衆議院の可決した議案を受け取ったのち30日以内(内閣総理大臣の指名は10日以内)に参議院が議決しないとき	
● 法律案の議決	参議院が衆議院と異なった議決をした場合 ⇒ 衆議院が出席議員の3分の2以上の多数で再可決したとき	法律となる
● 内閣不信任の決議	内閣不信任の決議は衆議院のみで行うことができる	

衆議院が参議院に優越する理由を押さえましょう。

衆議院議員の任期は4年間で、途中解散もあり、「より最新の民意」を反映していると考えられているためです。

テレビの内容と見比べて表の内容を確認してください。例えば、法律案の議決の再可決は、「出席議員の3分の2以上」です。憲法改正の発議の際の「総議員の3分の2以上」との違いに注意しましょう。

HPIに公民政治分野の記述の類題を用意しました。参照して内容の定着に活用してください。